

木原小トピックス

6月13日 (木)

やっさ「夢の打ち上げ花火」
～花火玉に将来の夢をのせて～



僕の夢をかきました。夢が
かかないように。

読売新聞(地域 8.24)



(8月9日) 最終日 木原の校区では、昨年の西ノ郷子を想った。開催された花火大会で、子 日本書で大娘嬢を被り、4年川東君(9)は筆もたの夢を花火と 書を炬火と、被災後、 自身は消防士を目指し、もに夜に打ち上げ、を助筆も決めた。避難しなごうた被災小で、児童が花火主 しが「卓球選手になり、地多の自衛隊に入貼るシルシルの夢を書いた。」就職して北海道行 てもうなことが、「自に行ってみる」マロ 舞隊員か消防士になつた。三原や、夢の行を釣らない、空思い、土砂災害の助け合が初めて企画「打ち上げの夢をシルシル? 具くたので、今度は自分場所(糸崎野)に近い 橋10・3)に、尺玉 助けようと思、この将来の水素、木原小参加 に出立た後、ルシー 夢を書き込んだ。



中国新聞(地域 8.24)

「やっさ祭り」花火大会の一尺玉に子どもの夢を乗せて打ち上げるといふ企画で、本校児童の夢が打ち上げられることに。子どもたちはワクワクドキドキ、夢を一生懸命書いていました。新聞、三原TVの取材も受けました。

